

長野県立こども病院
病院総合情報システム調達
【電子カルテシステム等】
落札者決定基準
(別紙)

令和4年12月

地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立こども病院

企画提案評価表

大分類	No.	審査項目	素点	重み付け	配点
基本事項	①	システム全体概要	5	1	5
	②	導入実績	5	1	5
	③	医用画像情報システムを含む病院総合情報システム構築	5	3	15
	基本事項 計				25
機能要件	①	医療安全に寄与する仕組み	5	4	20
	②	マスタ管理の利用者工数削減案、複数システム間のマスタ連携の実現方法	5	3	15
	③	患者基本情報、患者プロフィール情報の迅速な連携方法	5	2	10
	④	時系列形式のオーダ表示機能	5	2	10
	⑤	医療の標準化と質向上を可能とするクリニカルパス機能	5	3	15
	⑥	医療の標準化と質向上を可能とするレジメン機能	5	3	15
	⑦	病院情報システムに蓄積された情報全体の検索性向上	5	3	15
	⑧	収益や経営改善への寄与	5	2	10
	⑨	働き方改革への寄与	5	4	20
	機能要件 計				130
非機能要件	①	レスポンスの担保、データ増大によるレスポンス悪化を抑止する工夫	5	3	15
	②	システムおよび各種データにかかる BCP 対策	5	4	20
	③	データ移行範囲と、さらに次期のシステムへの移行に向けた施策	5	4	20
	④	システムの定期的な性能向上施策	5	2	10
	⑤	統合的なコスト削減施策	5	4	20
	⑥	定期的な運用改善施策	5	1	5
	⑦	保守対応	5	2	10
	⑧	移行期間中の端末配置計画等、確実な移行のための移行計画	5	3	15
非機能要件 計				115	
役務	1	プロジェクト管理	5	2	10
	2	病院側作業に対する支援・考慮事項	5	2	10
	3	会社としてのプロジェクト管理・品質評価体制	5	1	5
	役務 計				25
その他	①	その他	5	1	5
	その他 計				5
企画提案評価点 合計					300

企画提案依頼項目

基本事項	提案依頼事項	具体的提案依頼項目	配点
			25
	① システム全体概要	次期病院総合情報システム全体に関して、「要求仕様書」に基づき貴社が提案する内容の全体の枠組み、基本的な考え方、提案コンセプト、アピールポイント、当院が提案システムを採用することによる効果等を冒頭に簡潔に記述すること。 提案するシステムの構成、システム毎の役割、他システムとの連携の概要をシステム構成図で示すこと。その際、各システムの名称と「要求仕様書」の中で記載している名称との関連を明確にすること。	5
	② 導入実績	提案する電子カルテシステムについて、以下のそれぞれの条件における稼働状況をできるだけ数多く、施設名を含み詳細に記述すること。なお、件数のみの記載では評価しないため留意すること。 ① 200床以上の病院における、平成28年4月以降にシステム稼働した実績。 ② 小児医療を専門とする自治体立病院における、現在の稼働状況。	5
	③ 医用画像情報システムを含む病院総合情報システム構築	本調達の基本方針に示す、当院が運用中の医用画像情報システム（アストロステージ社STELLAR等）の機能をふまえた、システム構成、システム連携、診療の流れ、業務の手順、情報共有の最適化について提案すること。	15

機能要件	提案依頼事項	具体的提案依頼項目	配点
			130
	下記の提案依頼事項について、提案システムが提供できる具体的機能と運用方法について提案すること。 なお、いずれの事項においても小児医療を専門とする当院の特性をふまえ提案すること。		
	① 医療安全に寄与する仕組み	アレルギー情報の観点で、誤った指示（オーダ）の登録、指示内容の誤認識を防止する仕組み。 処方、注射、レジメンといった薬剤の観点で、誤った指示（オーダ）の登録、指示内容の誤認識を防止する仕組み。別途調達する重症患者システムとの連携、双方のシステムの動きもふまえ提案すること。 検体検査（採血）において、スピッツの取り違いを防止する仕組み。別途調達する検体検査システムとの連携、双方のシステムの動きもふまえ提案すること。 輸血において、誤った指示（オーダ）の登録、指示内容の誤認識を防止する仕組み。輸血システムとの連携、双方のシステムの動きもふまえ提案すること。 オーダの変更・中止が頻発する小児医療の特性に対応する仕組み。 その他、医療安全に寄与する仕組み。	20
	② マスタ管理の利用者工数削減案、複数システム間のマスタ連携の実現方法	電子カルテシステムを中心に、提案する部門システム並びに別途調達する部門システムとの間で、マスタの共通利用やマスタ連携する仕組み。 なお、現在、当院では特に薬剤に関するマスタに関して、システム間で連携しているものの、手作業での補正が必要であり業務負荷となっている。 マスタメンテナンスに関する当院職員の作業工数を削減できる機能や運用方法。 厚労省が定める標準マスタの活用を含む、医療情報の標準化に寄与するマスタ構築、運用方法。	15
	③ 患者基本情報、患者プロフィール情報の迅速な連携方法	電子カルテシステムへ登録する患者基本情報・患者プロフィール情報の部門システム（別途調達する部門システムを含む）との迅速な連携方法。	10

④ 時系列形式のオーダ表示機能	当院職員の業務効率化を目的に、処置、処方、注射、レジメン、食事等の指示内容をカレンダー形式で表示し、直感的な操作で指示確認、実施の操作が可能な仕組み。なお、オーダの変更・中止が頻発する小児医療を専門とする当院の特性をふまえ提案すること。	10
⑤ 医療の標準化と質向上を可能とするクリニカルパス機能	クリニカルパスに関する具体的機能と運用方法。	15
	パスに含まれる薬剤を容易に確認・変更できる仕組み。薬剤マスタ変更時に対応できる機能や当院の運用方法。	
⑥ 医療の標準化と質向上を可能とするレジメン機能	レジメン（抗がん剤注射）に関する具体的機能と運用方法。	15
	処方薬や検査指示・結果を含めた総合的なレジメン機能。	
	レジメンに含まれる薬剤を容易に確認・変更できる仕組み。薬剤マスタ変更時に対応できる機能や当院の運用方法。	
⑦ 病院情報システムに蓄積された情報全体の検索性向上	別途調達する部門システムを含む、病院総合情報システムに蓄積された情報全体の検索性向上に関し、提案システムが提供できる具体的機能と運用方法。	15
	当院職員によるシステム操作方法や提案システム内での機能において、情報検索の利便性ならびに情報検索速度の向上に向けた工夫。	
⑧ 収益や経営改善への寄与	診療科単位、患者単位の各種指標の抽出等、収益や経営改善に寄与する仕組み。	10
⑨ 働き方改革への寄与	本調達の基本方針に示す、リモートでの診療対応など、医療環境・社会情勢の変化への対応、医療従事者の働き方改革に繋がる仕組み。	20
	医師の働き方改革に繋がる仕組み。	
	看護業務の効率化、看護の質向上に繋がる仕組み。	
	身長体重計、体温計、血圧計といったバイタル数値の手入力作業の効率化、入力間違いを防止する仕組み。通信インターフェースによる通信、画像読み取りによる連携等の手法は問わない。 なお、現時点で当院が所有する機器で通信インターフェースを搭載するものは以下のとおり。 ・身長体重計（A&D社製 AD-6351、外部IF RS232C）×1台 ・車椅子体重計（A&D社製 AD-6108、外部IF RS232C）×1台 ・ストレッチャースケール（A&D社製 AD-6051A、外部IF RS232C）×1台 ・乾式臨床化学分析装置（スタットストリップXP3）外部IF：RFID ×5台	

非機能要件	提案依頼事項	具体的提案依頼項目	配点
	① レスポンスの担保、データ増大によるレスポンス悪化を抑止する工夫	<p>提案する電子カルテシステムに求められる処理能力、レスポンス性能について、以下の視点から記述すること。</p> <p>① 性能面に関するアピールポイントについて ② 処理毎に保証するレスポンス、レスポンス保証のための対策、技術、実績について ③ 求められるレスポンスが得られなかった場合の対応策について ④ データ量の増大等による経年的なレスポンス低下に対する対応について</p> <p>提案する電子カルテシステムの操作、画面展開にかかるレスポンス時間について、下記のデモシナリオに沿ったにかかる実測値を3例以上提示すること。なお、提案システムと同等の環境下（オンプレミス、データセンタークラウド）で運用される他病院での実測値を提示すること。なお、具体的な病院名についても明記すること。</p> <p>データ量増大によるレスポンス悪化を防ぐための機能面の工夫。当院への導入後の実環境と同等の環境でのデモンストレーションを実施すること。</p> <p>シナリオに沿ったデモの実施【外来】 (1) 受付患者一覧より、診察する患者を選択する。 ・患者は再来患者であること。 ・初診は2年前、1ヶ月に1度受診していること。 (2) 患者のカルテを開き、20文字程度の記事を記載、院外処方オーダー（Do処方）、次回診察予約のオーダーを発行する。 (3) オーダー発行後の登録、カルテ保存を行い、受付患者一覧を表示し、次の患者の診察が行える状態とする。</p> <p>シナリオに沿ったデモの実施【入院】 (1) 病棟マップより、新規にバスを適用する患者を選択する。 ・入院当日の患者にバスを適用すること。 ・該当する病棟には70%程度の患者が入院していること。 (2) バスと選択し、新規適用する。 (3) バスが適用済みであることを画面で確認する。</p>	115 15
	② システムおよび各種データにかかるBCP対策	<p>サイバー攻撃や災害を想定した、提案システムの冗長化やバックアップに関する取り組み。</p> <p>非機能要件5.3.3.3で要求する、診療データの当院外への遠隔地へのバックアップ保管する仕組みについての具体的な実施方針。別途調達するネットワークシステムに求める性能にも触れて提案すること。</p> <p>非機能要件5.3.3.10で要求する、3世代のバックアップデータを保管する仕組み並びに3世代目以降はネットワーク的あるいは論理的に書き込み不可の状態にする等の対策についての具体的な実施方針。別途調達するネットワークシステムに求める性能にも触れて提案すること。</p> <p>被災時に遠隔地バックアップしたデータを参照するための具体的な仕組みを提案すること。災害時に診療を継続する際に診療記録やメモを残す仕組みを提案すること。なお、メモしたことを復旧した電子カルテに取り込めること。</p>	20
	③ データ移行範囲と、さらに次期のシステムへの移行に向けた施策	<p>非機能要件3.2で要求する現行システムから提案システムへのデータ移行に関する具体的な実施方針。</p> <p>現行システムで利用している各種マスタ、クリニカルパスやレジメンといったコンテンツ、WordやExcelで取り扱っている文書フォーマット類の提案システムへの移行に関する具体的な実施方針。</p> <p>非機能要件7.6で要求する各種データの取り扱いに関する具体的な対応方針。</p> <p>非機能要件7.6.5～7.6.7で要求する将来のシステム更新時における具体的な対応方針。</p>	20

	④ システムの定期的な性能向上施策	システムの陳腐化を防ぐための定期的なバージョンアップ実施方針。	10
		同じシステムを利用している他病院との情報共有に基づくバージョンアップ実施方針。	
		診療報酬改訂や法律改定を遅延なく対応できること取り組み。	
	⑤ 統合的なコスト削減施策	提案するシステムが安定稼働するクライアント機器のメーカ、シリーズに制約がある場合、安定稼働する推奨製品（メーカ、シリーズ）をすべて明記すること。なお、当院では下記の機器を別途調達する予定である。 デスクトップPC（最大3面ディスプレイ構成）、液晶ディスプレイ、高精細ディスプレイ、液晶ペンタブレット、ノートPC、WindowsOS搭載タブレットPC、A4・A3プリンタ、レセプトプリンタ、ラベルプリンタ、リストバンドプリンタ、A4フラットベッドスキャナ、A4ドキュメントスキャナ、オーバーヘッドスキャナ	20
		電子カルテ端末の稼働率の低い、当直室や入院受付等の諸室に配置するPC、在宅勤務で利用する貸出PCについて、例えばリモートデスクトップやVDIの仕組みを活用して端末共有するといった費用対効果の高い仕組みと運用方法。	
	稼働後の電子カルテ端末増設時の当院職員との具体的な役割・作業分担を明確にし、当院職員の作業負荷軽減のための施策。		
	電子カルテ端末1台増設に要する具体的なライセンス購入費用、作業委託費用。		
	本調達システム稼働3年以降に製品として販売されているPCを対象とした雛形端末のキッティングにかかる作業委託費用。		
⑥ 定期的な運用改善施策	当院が抱える運用課題のキャッチアップと他病院での運用事例の積極的な紹介など、稼働後の継続した業務改善への提案。	5	
⑦ 保守対応	保守期間中における、WindowsOS、ミドルウェア、ウイルス対策ソフト等のサポート切れへの対応方針	10	
⑧ 移行期間中の端末配置計画等、 確実な移行のための移行計画	職員へのシステム操作研修計画案（システム稼働後のフォローアップ研修も含む）	15	
	職員の負荷に配慮した安全で確実な移行のためのデータ移行計画案		
	診療科の限られたスペースを考慮した、切り替えのタイミングでの新旧システム同時配置計画		

役務	提案依頼事項	具体的提案依頼項目	配点
①	プロジェクト管理	非機能要件6.1共通要件で要求する次期病院総合情報システム導入におけるプロジェクト統括管理についての具体的な実施方針。	10
		本調達システム全体のプロジェクトマネージャーの職務経験、参画プロジェクトとプロジェクトマネージャーとしての経験。別途調達システムを含む病院総合情報システムの導入を統括管理経験。	
		電子カルテシステム導入担当のプロジェクトマネージャーおよびプロジェクトリーダーの職務経験、参画プロジェクトとプロジェクトリーダーとしての経験。自治体立の小児医療専門病院における業務経験。	
②	病院側作業に対する支援・考慮事項	業者／病院との役割分担の工夫	10
		病院側作業を効率的に進めるための支援	
③	会社としてのプロジェクト管理・品質評価体制	本プロジェクトに適用する品質管理に関する方法論と品質管理指標	5

その他	提案依頼事項	具体的提案依頼項目	配点
		① その他提案項目	その他、今回の調達範囲で提案可能な仕組み

以上